

授業改善推進プラン <社 会 科>

( 社 会 ) 科における平成29年度授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白地図や資料集などを活用しながらの作業的な問題演習や、身近な社会的事象・人物・出来事を取り上げて発表や討論をする場を増やし、ワークシート・小テストなどを繰り返し行うことにより生徒の知識・理解を高めることができた。</li> <li>・ 資料活用の技能については、地図帳や視覚的資料を活用し、地図を見ながら重要事項の意味と場所を学習する授業を展開したことや歴史的資料と地理的資料を併用して歴史的事象のおおまかな流れをまとめることにより、全般的には資料活用の技能を高めることができた。</li> <li>・ 社会的な思考・判断・表現については、身近な事象や人物・資料を活用し他の時代との関連に注目させながら自分の考えを自分の言葉で発表・討論する場を設定し、学力を高めることができた。</li> <li>・ 以上のような取り組みをし、第2・3学年には十分な成果が見られたが、前年度より目標値との差が小さくなったので、全体的にさらなる授業改善や内容の精選が課題である。</li> </ul>
---------------	--

( 社 会 ) 科における調査結果の分析

内 容 別 結 果 の 分 析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科全体の平均正答率は、第1学年では目標値より3.5ポイント上回り、第2学年では1.2ポイント上回っている。第3学年では3.7ポイント上回るという結果が出ている。</li> <li>○ 地理的分野では第2学年の「世界の諸地域」と第3学年の「身近な地域の調査」以外は目標値を上回っている。特に第2学年の「世界の諸地域」は約6ポイント下回る結果となり改善の必要がある。第1学年はすべて目標値を上回っている。</li> <li>○ 歴史的分野は第1学年の「天皇中心の国づくり」第2学年の「飛鳥時代～平安時代」「中世の日本」第3学年の「明治時代」以外は目標値を上回っているが特に第3学年の「明治時代」は10ポイント以上下回り、改善の必要がある。</li> </ul>
観 点 別 結 果 の 分 析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「社会的事象への関心・意欲・態度」は目標値から見ると、第1学年は2.5ポイント第2学年は3.5ポイント第3学年は4.6ポイント上回った。</li> <li>○ 「社会的な思考・判断・表現」は目標値から見ると、第1学年では4.2ポイント第2学年は4.5ポイント、第3学年では4.6ポイント上回り、授業改善の成果が現れた結果となっている。</li> <li>○ 「資料活用の技能」は全学年とも目標値を上回ったが、第2学年では1ポイントしか上回っていないので改善の必要がある。</li> <li>○ 「社会的事象に対する知識・理解」は目標値から見ると第1学年は2.3ポイント上回り、第2学年は1ポイント第3学年は3.7ポイント上回る結果となっていて第2学年では1ポイントしか上回っていないので改善の必要がある。</li> </ul>

## 調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 学年：「社会的事象に対する知識・理解」と「関心・意欲」を高めるため、ワークやプリントなどの問題演習を実践し、既習事項を含めた小テストなどで向上を図る。
- 2 学年：「資料活用の技能」をさらに高めるため、資料の比較によりポイントを発見させるなど資料を読み取る技能を中心とした学習に重点を置いた授業を実践していく。
- 3 学年：「社会的事象に対する知識・理解」をさらに高めるため、ワークやプリントを活用した問題演習を授業内で実践し、テーマごとの小テストなどにより向上を図る。

## ( 社 会 ) 科の授業改善策

- 1 学年の「社会的事象に対する知識・理解」をさらに高めるために
  - ・ 地理：白地図や資料集を活用して作業的な問題演習を行うことで、産業の特色を視覚的にとらえることができるようにする。地図や視覚的資料・デジタル教材を用いながら学習内容を精選するとともに、テーマごとの小テストを継続して行う。
  - ・ 歴史：プリントやデジタル教材を活用した授業内での演習、様々な人物や出来事を含めた小テストなどをくり返し行い、既習事項も確認していくことで、知識の定着と関心・意欲の向上を図る。また、歴史的事象を学習する際に地図帳を活用することで地理的知識との融合問題に対応できるようにする。
- 2 学年の「社会的事象に対する知識・理解」「資料活用の技能」をさらに高めるために
  - ・ 地理：地図帳やデジタル教材を活用し、地図を見ながら重要事項の意味と場所を学習する授業を展開する。「世界の諸地域」の復習を重点的にを行いながら、我が国との関連についての理解を深めていく。複数の資料を比較する場面を取り入れながら、資料を活用した問題に取り組む。
  - ・ 歴史：歴史的資料やデジタル教材とあわせて地図帳をはじめとする地理的資料も活用して理解を深め、レポートや発表、討論などにより時代や歴史的事象のおおまかな流れをまとめられるようにし、知識の定着を図る。
- 3 学年の「社会的事象に対する知識・理解」をさらに高めるために
  - ・ 歴史：身近な出来事やデジタル教材などを活用しながら、事象と主要人物を結び付ける活動を取り入れた授業や資料を取り入れたワークシートを中心とした授業を展開する。大まかな歴史の流れをペアワークで確認し、「明治時代」などの復習を含めた小テストを繰り返し実施しすることにより、理解を深めさせる。その時代の特徴を概観させながら、自分の言葉で表現して発表・討論する場面などを設定する。
  - ・ 公民：デジタル教材を活用して身近な社会的事象や人物を取り上げて、小グループなどによる発表や討論などをする場面を増やすことにより、自分の考えを自分の言葉で表現することを繰り返し行う授業を設定する。多くの統計資料や視覚的資料に触れさせ、資料の読み取り能力を高める。